

## 壁はチャンスと捉えよう！

12/10(土)、穏やかな日差しの中、保護者や地域の方々の見守られながら、校内駅伝大会が開催されました。生徒達は先月の期末テスト終了後から部活動や各個人ごとに早朝ランニングを行ったり、体育の授業では駅伝コースを走りながら、自己記録の更新を目指して走り込んできました。

当日は走る前にクラスで円陣を組み気持ちを一つにし、レースが始まるとクラスが一丸となって各区間の走者に声援を送り、1本のタスキに心を込めて次の走者に渡す姿がとても輝いていました。長距離走は得意な人ばかりでなく、苦手な人もいるでしょう。走っている途中では、息が上がり、呼吸が苦しくなり、もうダメだということもあったでしょう。しかし、応援してくれる仲間のためにもなんとか最後まで走ろうと思った人もいたと思います。さすが、舞中生でした。あらためて、走るのが速い、遅いではなく、「一生懸命」な姿に私は勇気と感動をもらいました。ありがとう。

先日のサッカーワールドカップでの日本代表の戦いに勇気と感動をもらった人も多かったことだろうと思います。ドイツ、スペインという過去の優勝国の強豪チームを相手に堂々の勝利、しかし、決勝トーナメント1回戦で敗退し、ベスト8には進めませんでした。試合後、多くの選手が悔し涙に暮れながらも、「4年後はその壁を破って目標を達成したい」と話していました。とてつもなく高くそびえ立つ壁のように感じていたベスト8の壁が、今回の戦いで乗り越えられそうな壁になっているように感じた人は多かったのではないのでしょうか。

メジャーリーグで活躍したイチロー（鈴木一朗）さんは「壁というのは、できる人にしかやってこない。超えられる可能性がある人にしかやってこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている。」と言っています。私たちの目の前には大なり小なり様々な壁が立ちはだかりますが、その壁から逃げずに何回でも挑戦していくことが自分たちを成長させる一歩になると思っています。

